

学 校 だ よ り

高知市立高知特別支援学校



TEL (088)843-0579

FAX (088)840-9796

平成 30 年度「学校アンケート」結果

平成 30 年度「学校アンケート」の実施に当たりましては、お忙しい中にもかかわらず、保護者の皆様 127 人から回答をお寄せいただきました。改めて御協力に感謝申し上げます。

このたび、結果の取りまとめができましたので、次のとおりお知らせいたします。

指標	項目	質問内容		そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	思わない	無回答 その他
心 と 健 や り か な あ る 体 の 豊 か な 育 成	生-1)	あなたは、自分を大切にしたり、他の人に思いやりの心を持って接したりして、みんなが笑顔で仲良くできるようにしていますか。	生徒	70.8%			25.0%	9.9%
	保-1)	お子さんは、自分や友達を大切にしたり、他の人に思いやりの心を持って接したりしていると思いますか。	保護者	30.4%			38.6%	11.0%
	教-1)	学校は、子どもたちが自分や友達を大切にしたり、他の人に思いやりの心を持って接したりすることができるよう指導に努めていますか。	教職員	54.9%			42.3%	2.8%
自 ら 学 び 、 学 び の 力 の 楽 し い 成 育 し	生-2)	あなたは、学習や生活の中で、自分の力がしっかり出せていると思いますか。	生徒	64.7%			30.9%	9.9%
	保-2)	お子さんは、学習や生活の中で、力をしっかり出すことができていると思いますか。	保護者	37.8%			51.2%	8.7%
	教-2)	学校は、子ども主体の学校生活を実現するために、具体的な工夫や努力をしていますか。	教職員	49.3%			42.3%	8.5%
志 を も っ て 社 会 を 生 き る 人 づ く り	生-3)	あなたは、自分の進路について考えたり、実現に向けて取り組んだりすることができていますか。	生徒	52.4%			30.9%	13.2%
	保-3)	学校は、お子さんが自分の進路について考えたり、実現に向けて取り組んだりすることができるような進路指導をしていると思いますか。	保護者	41.7%			33.1%	22.8%
	教-3)	学校は、計画的・系統的な進路指導体制のもと、子どもたちが自分の進路について考えたり、実現に向けて取り組んだりすることができるような進路指導をしていますか。	教職員	28.2%			49.3%	22.5%
	保-4)	学校は、家庭への連絡や情報提供（教育方針や取り組み等）を積極的に行っていますか。	保護者	53.5%			29.1%	14.2%
	教-4)	学校は、保護者や地域への連絡や情報提供（教育方針や取り組み等）を積極的に行っていますか。	教職員	36.8%			54.9%	8.5%
	地-1)	学校は、地域への連絡や情報提供（教育方針や取り組み等）を積極的に行っていますか。	地 域				100.0%	0.0%
組 織 力 を 生 か せ る 学 校 づ く り	生-4)	あなたは、学校生活が楽しいですか。	生徒	69.1%			19.1%	7.4%
	保-5)	お子さんは、学校生活を楽しんでいると思いますか。	保護者	62.2%			26.0%	10.2%
	教-5)	子どもたちは、充実した学校生活を送ることができていると思いますか。	教職員	36.8%			57.7%	5.4%
	地-2)	子どもたちは、充実した学校生活を送っていると思いますか。	地 域				87.5%	12.5%

以下に、集約を記します。

1 子どもたちは、自分を大切にするとともに、周囲の人に思いやりの心を持って接することができるか。

- ・ 「そう思う」、「ややそう思う」という回答が、保護者で約 90%、子どもと教職員では 95%を超えています。
- ・ 学校は、教職員自らの在り方を省みることも行いながら、支援の工夫・改善をしていきます。

2 子どもたちは、学校生活で力をしっかり出せているか。

- ・ 子どもの 95%が、「そう思う」、「ややそう思う」と答えていますが、保護者と教職員の回答ではその割合が約 90%になっています。
- ・ 保護者から自由記述で寄せられた御意見の中に「子どもの能力に応じた指導・支援をしてほしい」というものがあり、具体的には、基本的な生活習慣の育成や教科別の指導に関する御要望でした。本校では、「各教科等を合わせた指導」をメインとする教育を行っていますので、その形態の中では、「子どもが持てる力を発揮し、また向上させることが難しいのではないか」という御心配が背景にあることが、この結果となった理由の一つではないかと推察しています。

本校が大きく位置付けている教育は“合わせた指導”ですので、当然のことながら、その中に基本的な生活習慣の育成や教科学力の充実も含まれています。国語や算数・数学といった教科別の授業をしたり、特定の生活スキルだけを取り上げて訓練のように取り組んだりすることは本校の教育にはなじまないと考えておりますが、そうした力をお子さんに身に付けていってもらえるよう、さらに支援の在り方について工夫・改善を続けていきます。

- ・ 生活単元学習や作業学習では、一人ひとりの子ども全てがその良さを発揮することが大切です。この点について改めて意識するとともに、「できる状況づくり」の取り組みをさらに進めていきます。

3 学校は、子どもたちが自ら進路について考えることができる指導をしているか。

- ・ 生徒の 84%、保護者と教職員の約 75%が、「そう思う」、「ややそう思う」というものでした。
- ・ 一口に「進路について考える」と言っても、子どもの個人差や特性に鑑み、その内容や方法は多種多様です。生活年齢や発達の様子によって進路についての意識や理解に違いがあり、それが回答結果に反映されているように思われます。

学校は、子どもが「自分から、自分で、めいっぱい、精一杯」活動する中で、主体的に生活を送る意欲を育むことを引き続き大切にしながら、一人ひとりの子どもに応じた進路指導をしていくよう努めます。

- ・ 小学部・中学部から高等部に向けて連続性のある進路指導がなされるよう、各学部における取り組みが充実するよう見直します。

4 学校は、家庭や地域への連絡や情報提供を積極的に実施しているか。

- ・ 地域で 100%、教職員の 92%が「そう思う」、「ややそう思う」と答えていますが、保護者の回答ではその割合が 83%に留まっています。
- ・ 学校は、引き続き、よりていねいに情報を保護者にお届けしていく取り組みが必要であると考えます。日々の連絡帳や学校・学部・学年・学級の通信、進路や保健、給食関係のお便りなどを積極的に活用するほか、様々な方法で情報提供を図るよう努めます。また、「伝える」だけでなく、「伝わる」

連絡になっているかどうかにも気を付けていきます。

5 子どもたちは、学校生活を「楽しい」、「充実している」と感じているか。

- ・ 子ども・保護者・地域・教職員のいずれにおいても、「そう思う」、「ややそう思う」がおよそ9割以上となっていますが、地域・教職員に比べて子ども・保護者が低くなっています。
- ・ 子どもが自分から、自分で、めいっぱい、精一杯取り組み、うまく成し遂げて満足感を得る学校生活の実現を目指している私たちにとって、大変うれしい結果です。これからも、子ども主体の学校生活づくりに力を注ぐとともに、「楽しい」の中身の更なる充実に努めていきます。
- ・ 10%を超える子どもや保護者が「楽しい・充実していると感じていない」ことについては、訴えを真摯に受け止め、その理由・原因を探って手立てを講じる必要があります。

6 自由記述等で寄せられた御意見について

(1) 不祥事に関する御意見や御指摘をいただきました。

この御指摘は、非常に重大に受け止めております。過去の体罰事案の発生を受けて再発防止のための取り組みを行ってきましたが、今般、お子さんにけがを負わせるという事案を起しました。誠に申し訳なく、ここに改めてお詫び申し上げます。損われた信頼を取り戻すのは大変難しいことですが、全教職員が力を合わせ、学校に対する不信感をなくしていただけるよう努力していきます。

今後は、いただいた御意見や御指摘を受け、全体の職員会や学部会などにおいて研修に取り組むとともに、その状況や結果についてお知らせしていきます。また、これまでの取り組みで十分な成果を出せていなかったことについても反省し、教職員一人ひとりの意識や思いの在り方について振り返ります。

(2) 教員としての資質及び専門性の向上や、一人ひとりに応じた支援をすることに関する御意見をいただきました。

本校では、各種研修の実施に努めるほか、特別支援学校教諭免許状所有率の向上に取り組んでいます。また、日常の授業実践などを通して、子どもの様子をしっかりと見取り、よりよい支援の在り方について話し合いをすることなどに努めています。

学校は、こうした取り組みを継続するとともに、関係機関などとの連携のもとで助言を得るなどしながら、教員の資質・専門性の向上や一人ひとりに応じた支援の実現に努力していきます。教職員研修に関しては、研修計画のいっそうの充実や、個々の研修における到達目標の意識化を確実にするなどの手立てを講じます。

(3) 施設・設備に関することや、その他の御意見・御要望をいただきました。

御提起の内容については、それぞれの学部や担当部署等で検討し、改善策を探っていきます。

以上、御報告といたします。私たちは今般の小学部修学旅行における事案の発生を深く反省し、引き続き少しでもいい学校になれるよう努力してまいります。お気付きの点は御遠慮なくお知らせくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

_____ き り と り 線 _____
学校だより 返信 No. 17 _____ 部 年 組 保護者名 _____